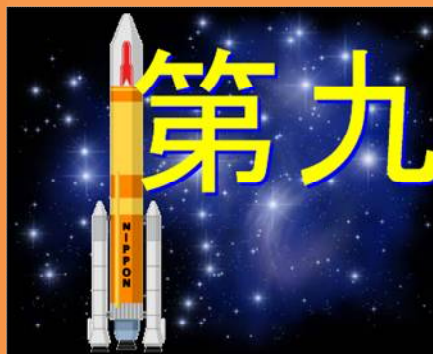




40周年 第九たいむず 高崎の第九

2014.2.20

No.35

通刊 1080

担当 あきら

2週にわたる大雪、みなさんの周りは大丈夫でしたか。カーポートやテラスの被害も多かったようです。除雪作業の筋肉痛、雪道での走行や歩行、疲れもたまっているので体調管理も気をつけましょう。練習会場の屋根の下も、駐車場も、帰りの道も凍っています。帰り道も気を付けましょう。

◆ 先週のおさらい

♪ ステンカ・ラージン

- P19 上の段 2小節目の Sop.と Alt.の「M」はオープンハミングの「ウ」で歌う。
P20 下の段 2小節目 poco più mosso(今までより少し速く)からは *f*で歌う。
P21 下の段 5小節目の男声は *mf*でなく *mp*で歌う。「ДН」は「ドン」
P23 上の段 Agitato(アジタート)は動揺して、激しての意味。
下の段 5小節目の女声「A」は「ア」で歌う。
P24 下の段 2小節目の「y」は「ウ」で歌う。

【歌詞】ステンカ・ラージン

久遠(くおん)にとどろく ヴォルガの流れ
眼にこそ映えゆく ステンカ・ラージンの船
眼にこそ映えゆく ステンカ・ラージンの船
久遠(くおん)にとどろく ヴォルガの流れ
眼にこそ映えゆく ステンカ・ラージンの船
眼にこそ映えゆく ステンカ・ラージンの船
ペルシャの姫なり 燃えたる唇(くち)と
うつつに華やぐ うたげぞ流がる
うつつに華やぐ うたげぞ流がる

ドン・コサックのむれに いま湧(わ)くそしり
おごれる姫なり 飢(う)うるはわれら
おごれる姫なり 飢(う)うるはわれら

その昔(かみ)帰らず ヴォルガの流れ
覚めしやステンカ・ラージン 眉根(まゆね)ぞかなし
覚めしやステンカ・ラージン 眉根(まゆね)ぞかなし

Ah— — —

【歌詞】流浪の民

<日本語歌詞>
ブナの森の葉がくれに
宴(うたげ)寿(ほが)い賑わしや
松明あかく照らしつつ
木の葉しきて居居(うつい)する
これぞ流浪の人の群
眼(まなこ)光り 髪清ら
ニイルの水に浸(ひた)されて
きららきらら輝けり
たきび
燃ゆる赤き炎
燃ゆる火を囲みつつ
囲みつ

巡り 男(おのこ)休らう
強く猛(たけ)き男(おのこ)休らう
女(おみな)立ちて急がしく
酒を汲みてさし巡る
歌い騒ぐそが中に
南の国に恋(こ)うるあり
悩みはらう願事(ねぎごと)を
語り告ぐる媼(おうな)あり
愛(めぐ)し乙女舞い出(い)でつ
松明あかく照りわたる
管弦の響(ひびき)にぎわしく
連れだちて舞い遊ぶ

すでに歌い疲れてや
眠りをさそう夜の風
なれし故郷を離たれて
夢に楽土求めたり
なれし故郷を離たれて
夢に楽土求めたり
東(ひんがし)空の白みては
夜の姿かき失せぬ
ねぐらすてて鳥なけば
何処(いずこ)行(ゆ)くか流浪の民
何処(いずこ)行(ゆ)くか流浪の民
何処(いずこ)行(ゆ)くか流浪の民

《直訳》 外處典子さんが訳文を書いてくださいました。

森の木陰に ブナの枝の間に 何かがカサカサと音
をたて ささやく声がする
木の葉と岩のまわりに 色とりどりの姿がめぐり
そのまわりでは炎が瞬き 光がひらひら揺れている
そこにいるのは生き生きとしたジプシーの群れ
目は光り 髪は波打っている
聖なるナイル河のほとりで母の乳を飲み スペインの
南国の陽にやかれています
豊かな緑の中で炎が燃え上がり 荒々しい男たちが
不敵に横たわる
女たちはしゃがんで食事の支度をし 忙しく古びた杯
を満たしている
そして色とりどりの花が咲くスペインの庭園のように
輪をつくって唱えごとや歌を響かせる
そして老婆が危険や苦難のときのためのまじないの

格言を告げると 群れはそれに聞き入っている
黒い目をした娘たちが踊り始める
たいまつの子の赤い輝きがきらめく
ギターが誘い シンバルが響く
踊りはどれほど荒々しくなっていくことか！

夜の踊りに疲れると ブナの葉ずれの音が彼ら
をまどろみへと誘う
そして幸福な故郷を追放された彼らは 夢の中で
その幸せな土地を見る

しかし今や東方に朝が目覚めると 夜の美しい
姿は消える
夜明けとともに驃馬がひづめで地面を搔き さす
らう姿は移動する
どこに行くのか 誰が君に告げる人がいようか？

◆ 今後の予定

2月23日(日) **第30回すみだ5000人の第九**(有志 13 名参加) — ご案内参照
4月20日(日) **メイコンサートのための特別練習**(中央公民館集会ホール・10時～16時)
5月18日(日) **メイコンサート** (ゲストソリストに出来田三智子さん)
5月22日(木) **総会&ミニコンサート** 6月5日(木) **第41回発声式**
8月24日(日) **サマーレッスン** 11月8日(土)・9日(日) **軽井沢レッスン**
12月20日(土) **第41回第九演奏会**

◆ すみだ5000人の第九参加の皆様へ 2月23日(日) バス;深町

「すみだ5000人の第九」はソプラノ4名、アルト4名、テノール1名、バス4名の計13名の参加です。服装は11月の高崎第九演奏会と同じ。当日は高崎駅2番線7時4分発の湘南新宿ラインの前から2両目に集合して下さい。新宿駅で乗りかえ、会場である両国駅前の国技館へ行きます。10時から発声練習、ゲネプロ、昼食、着替え後、午後2時開演です。終了後は近くの「ちゃんこ霧島」で打ち上げです。皆で楽しんでみましょう。(別行動等は、「必ず事前に」バス 深町さんまでご連絡下さい)

◆ イベント情報

- ◆ **2月22日(土)NPO・ボランティアフェスティバル 高崎市民活動センター ソシアス**
10時～15時 10:35からステージにてテノール高橋寛さんが活動されている「学習塾HOPE」の活動発表、13:25からバス大里さんが三曲合奏研究グループで演奏されます。他にも11団体が活動発表され、体験教室もあります。
- ◆ **2月23日(日)若い芽のコンサート in ぐんま**
ベイシア文化ホール大ホール 14:30開演
チケット:全席自由1000円、学生500円
第33～35回にお父さんと参加されていた丸山貴大君。
現在は東京音楽大学2年生。このコンサートでモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第4番ニ長調 K.218 を指揮します。 <http://www2.gunmabunkazigyodan.or.jp/cgi-bin2/>



◆ たいむず今週号の担当紹介 テノール:小野里明・ペンネーム[あきら]

1992年に入団。2011年、バスからテノールへ転向。当初は妻と一緒に歌っていましたが、2年前には娘と共演。海外公演は2～4回公演に参加。その後は留守番を務めています。主に事務局長をしています。が、昼間は県庁職員。先月渋川のある工場に立ち入りしたところ、翌朝の毎日新聞一面記事に、昨日はそのことが国会の予算委員会でも取り上げられました。まあ、そういう仕事を密かにしています。。。

合唱団のホームページ、経理、法手続など影の仕事が多く、レセプション司会が日なたの仕事です。合唱団に関する提案、苦情など何でもお知らせください。合唱団アドレス: takasaki9@myad.jp